

一般演題 B

13:00～14:15

座長 山田不二子(日本子ども虐待医学研究会)

B-1

被虐待児として保護せざるを得なかった 2 症例

加藤美穂子¹⁾、田島隼人¹⁾、大澤弘勝¹⁾、長坂昌登¹⁾、山崎嘉久²⁾

あいち小児保健医療総合センター 脳神経外科¹⁾、総合診療部²⁾

B-2

被虐待児の歯科検査事例

都築民幸^{1, 2)}、岩原香織^{1, 2)}、佐藤喜宣^{2, 1)}

日本歯科大学生命歯学部歯科法医学センター¹⁾、杏林大学医学部法医学教室²⁾

B-3

SBS の眼底所見とその傾向

中山百合

国立成育医療研究センター 眼科

B-4

乳幼児の急性硬膜下血腫と受傷機転に関する検討

～自白、裁判を通して認定された虐待症例との比較～

横田千里、埜中正博、押田奈都、中島 伸、山崎麻美*

国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科、愛仁会高槻病院小児脳神経外科*

B-5

小児虐待による頭部外傷の現況

～頭部外傷を全例受け入れている施設での検証～

山中 巧, 原田敦子, 山崎麻美

愛仁会高槻病院 小児脳神経外科